

第16回 定期演奏会

合唱団 Rinte

音楽監督・指揮 栢森 和重

大中 恩

混声合唱組曲

「ただそれだけのことなのに」

5人の作曲家による「民謡」

「久美の舟唄」「天満の市は」「五木の子守唄」他

北欧ノルウェー、ラトビアの響き

Gjeilo

Ubi Caritas / Northern Lights

Dubra

Ave Maria(1) / Eripe Me

新実 徳英

無伴奏混声合唱のための愛唱歌集

「金子みすゞの八つのうた」

「生きる」

みんなちがって、
みんないい。

2025.7/20(日) 13:15 開場 / 14:00 開演 (13:35~13:50 指揮者プレトーク)

なら100年会館 中ホール (JR奈良駅西口より徒歩5分)

奈良市三条宮前町7-1 (TEL 0742-34-0100)

入場料：一般 1,500円 高校生以下 500円

主催 合唱団Rinte

後援 奈良市教育委員会 木津川市教育委員会
精華町教育委員会 株式会社 KCN京都

チケット取扱所 なら100年会館内チケットセンター(休館：火曜日)
0742-34-0111

HPアクセスは
こちらから▶



<http://rinte-myheart.com>

お願い

未就学児の入場はご遠慮ください
出演者への花束、贈り物等は
謹んでご辞退申し上げます

ア・カペラ！

ア・カペラとは楽器などを使わずに声だけで演奏すること。もとはルネサンス期の教会音楽の一つの様式をさして、イタリア語のa cappellaは英語のin chapel、「礼拝堂で」「聖堂で」というような意味となる。いまでは無伴奏で重唱や合唱をすることをあらわして、ヨーロッパやアメリカのヴォーカルグループや合唱団の多くがア・カペラをその活動の中心に据えている。合唱団Rinteも1996年の結成以来ア・カペラでの演奏を大切にしている、初舞台の合唱祭でもコダーイ、パレストリーナなどをア・カペラで歌っているのだ。これまでの演奏会でも必ず半分以上のプログラムをア・カペラとしてきたし、すべてア・カペラでの「オール ア・カペラプログラム」は3度目となる。

演奏会のオープニングを飾るのは昨年(2024年)が生誕100年だった大中恩の1971(昭和41)年、47歳の時の作品。作曲した2000作品のうちのほとんどが歌曲や合唱曲だった。大中は多作で速筆だったようにいわれるが、自らの作品を歌う合唱団を組織し、自ら指揮をして世に作品を問いつけた作曲家ともいえる。混声合唱組曲「ただそれだけのことなのに」はアンパマンで有名なやなせたかしによる詩からインスパイアされた作品。

5人の作曲家による「民謡」では、山口良介、信長貴富、間宮芳生、松下耕、大中恩の5曲をとりあげた。楽譜によると「編曲」と「作曲」があり、その線引きはどこからかとても難しい。民謡を素材として作曲したのか、それとも民謡を合唱曲に編曲したのか…。「久美の舟唄」は京都で活動する民謡合唱団 箒で長年歌われてきた楽譜をご提供いただいた。

演奏会で必ず歌ってきた外国作品、今回は北欧ラトビアのDubraとノルウェーのGjeiloの4曲。ともに宗教的な影響や宗教的題材で作曲された作品が多い。DubraのAve Maria(1)は1989年、Eripe Me(私を助け出してください)は1996年、GjeiloのUbi caritas(愛と慈しみのあるところ)とNorthern lightsは2007年に作曲された現代の作品といえる。Northern lightsはGjeiloが首都オスロに滞在した際に見たオーロラ的美しさに強い印象を受けて作曲した曲で、テキストは紀元前の古代から歌い継がれてきた愛の歌である旧約聖書の「ソロモンの雅歌」からとられていて、愛する人を「じっと見つめていることのできない、恐ろしいほどの美しさ」と歌っている。

無伴奏混声合唱のための愛唱曲集「金子みすゞの八つのうた」「生きる」は新実徳英が作曲。「派手さも奇をてらった新しさも何もありません」できるだけ優しく、いつでもどこでも口ずさめる曲にしたと作曲者はいうが、新実節が随所に炸裂し、そう易しいとは到底思えないが、金子みすゞの素直で愛らしく心の奥深くに訴える詩がア・カペラの佳さともあいまった楽しい曲である。

Conductor 音楽監督・指揮 栢森 和重 Kazushige Kayamori



全日本合唱コンクール連続金賞など全国的に注目を集めてきた合唱団うたおの指揮者(1989~97)。現在、Ensemble Kika(岐阜市)音楽監督・指揮者、Ensemble Clair,Kyoto(京都市)音楽監督・指揮者、混声合唱団マンダラー(三重県名張市)指揮者、精華町少年少女合唱団(京都府)音楽監督。合唱団Rinte(京都府木津川市)では創団以来常任指揮者を務めてきた。また、愛知室内オーケストラ、奈良交響楽団、けいはんなフィルハーモニー管弦楽団等への客演や指揮者、合唱指揮としての共演、多くの合唱演奏会への客演、コンクール審査員、指揮法等の講習会の講師なども数多く務め、少年少女合唱団や中学、高校、大学合唱団等の若い世代の育成にも力を注いでいる。三重大学大学院教授などを歴任。指揮法を小泉ひろし氏、合唱指導法・声楽を羽根功二氏に師事。

合唱団 Rinte



1996年2月結成。
ア・カペラでの演奏を活動の中心に据え、ルネサンスから近現代の作品まで様々な合唱曲に取り組んでいる。
月2回の練習には、近隣市町を中心に奈良、京都、大阪、岐阜などからメンバーが集まり、人の声の織り成す深く豊かな世界に魅力を感じ、音楽の力を信じて歌い続けている。年に1回、定期演奏会を開催。
結成以来の合言葉は、
《Our Harmony is Our Heart》



▲YouTube

団員募集

オーディションはありません。歌うのが好きな方、ちょっと本格的に合唱してみたい方！私たちと一緒に合唱を楽しみませんか？どうぞ練習見学にお越しください。

《主な活動》

定期演奏会、合唱祭 等への出演、依頼演奏など
練習日 第1・3・5日曜日 13~17時
練習会場 木津川市内、精華町内 他



▲Facebook



▲X (旧Twitter)